

# From JPMA

## アジア諸国との連携

昨年末に閣議決定された新成長戦略では、その冒頭に「『坂の上の雲』を目指した発展途上国型の経済運営ではなく、地球規模の課題を解決する『課題解決型国家』として、アジアと共に生きる国の形を実現する」と述べており、これを実現するための一つとして、ライフ・イノベーションによる健康大国戦略が示されています。この中では、革新的な医薬品の研究開発促進、産官学が一体となった取組み、ベンチャーの育成、治験環境の整備、承認審査の迅速化などが具体的にあげられています。また、フロンティアの開拓による成長の中

では、アジア諸国との連携に触れられていますが、製薬協としても今後のグローバル展開の中で、とりわけアジア諸国との連携を深めながら、成長基盤の強化に向けて政府と一体となった努力を重ねていかなければならないと強く感じています。

(会長会見より)



日本製薬工業協会  
会長 庄田 隆

### 日本製薬工業協会（製薬協）

#### Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者中心の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。